

平成28年5月10日

(公財)日本中学校体育連盟水泳競技部

全国中学校水泳競技大会 震災に伴う特例措置について

現在、熊本県では、震災の影響で競技用プールが壊滅状態にあり、復旧の見通しも立たず、また選手の練習もままならない状況です。

つきましては、平成28年度全国中学校体育大会・第56回全国中学校水泳競技大会において、下記の通り、特別措置をとることを報告いたします。

記

1. 対象県 熊本県
2. 特別措置 3の期間中、長水路の公式・公認競技会において、第56回全国中学校水泳競技大会標準記録を突破した者（チーム）は、第56回全国中学校水泳競技大会への出場を認める。
ただし、個人種目においては、標準記録を突破した種目に限る。
リレー種目については、突破した時のメンバーがすべて在籍している場合に限る。ただし、補欠はこの限りでない。また、4名の個人種目の合計タイムが標準記録を上回っている場合も、リレー種目の出場資格を与える。
なお、標準記録を突破した大会の所属は問わない。
3. 期間 平成27年度全国中学校水泳競技大会1日目（平成27年8月17日）から平成28年7月31日まで

以上

平成28年5月

熊本県中学校体育連盟水泳専門部
専門委員長様

(公財)日本中学校体育連盟水泳競技部

全国中学校水泳競技大会

震災に伴う特例措置 補足説明

1. 標準記録を突破した大会の所属は問わない
 - ・指定された期間に、スイミングクラブ等第2区分の所属として出場した公認・公式競技会（50mプール）で標準記録を突破した場合も出場を認める。
 - ・リレー種目においては、第2区分の所属として出場した公認・公式競技会（50mプール）で標準記録を突破した場合であっても、出場選手全員（補欠を除く）が同じ中学校（中等教育学校）の生徒である場合、そのチームの出場を認める。
2. リレー種目については、突破した時のメンバーがすべて在籍している場合に限る。ただし、補欠はこの限りでない。
 - ・平成27年8月17日～平成28年3月31日の間に、リレー種目の標準記録を突破したが、その中に3年生（現高1）がいる場合は、出場権を得られない。
 - ・上記期間の競技会で、突破チームで泳いだ4名が1，2年生であり、補欠が3年生である場合は、出場権を与える。
3. 4名の個人種目の合計タイムが標準記録を上回っている場合も、リレー種目の出場資格を与える。
 - ・4人の記録は、同一競技会のものでなくてもよい。